

# 妖怪に浸るブックカフェ

日本民俗学の父・柳田国男にちなんだ観光振興に取り組む福崎町で15日、国登録有形文化財で、大正期に建築された旧辻川郵便局（同町西田原）の1階に「妖怪ブックカフェ」がオープンした。柳田の著書や民俗学の書籍、妖怪の絵本など約200冊を取りそろえ、コーヒーやジュースを片手に本の世界を楽しめる。

（井上 駿）

## 福崎・旧辻川郵便局にオープン

木造2階建ての同局舎は、柳田が少年期に蔵書を読みふけたという逸話が残る県指定文化財「大庄屋三木家住宅」に隣接する。同住宅の一部と局舎は、神戸新聞グループのまちづくり会社「PAGE（ページ）」が改装し、昨年11月に複合ホテル「NIPPON IA（ニッポニア）播磨福崎蔵書の館」としてオープン

しており、局舎2階はホテルの客室となっている。ブックカフェには、ゆったりとくつろげるようにソファやクッションが置かれ、静かな空間で本に没頭できる。家族4人で訪れた同町の会社員山本明典さん（37）は「子どもたちは妖怪が大好きで、珍しい本も多くて興味津々でした」と満足そうだった。

同ホテルゼネラルマネジャーの川端雅明さん（40）は「時の移ろいを感じつつ、妖怪の世界に浸ってほしい」と話している。

ブックカフェは土日祝の午前11時～午後3時に営業。同ホテル ☎0120・293・958

旧辻川郵便局をリノベーションした建物の外観



妖怪の本を読んでくつろぐ家族連れ＝いずれも福崎町西田原



柳田国男の生誕地 絵本など200冊備え